

令和7年度の教育活動等に関する学校評価

基本区分：1)教育、2)連携、3)運営

九州女子大学附属鞍手幼稚園

No.	区分	[業務事業] 具体的施策	今年度の取組に対する自己評価	学校関係者の評価
1	教育	[保育内容の充実]	豊かな自然環境や広大なグラウンドを十分生かした体験型保育内容を中心に据えて、子どもの健やかな健康発達を育む保育実践を構築した。	田舎ならではの環境を生かし、子どもが主体的に協力し合いながら生活している姿が見られた。
2		[子ども子育て支援の充実]	地域に根差した「乳幼児期の子どもの発達の支援センター」として総合的に取り組み、内容を充実させていった。	支援活動に参加した方からの満足度の高い声を聞くことができています。
3	連携	[学園設置大学との連携の充実]	実習園として実習生を受け入れ幼児教育者としての学びの場を提供するとともに、体育・心理・美術などの大学の教育職員の派遣を行い、専門性を活かした保育プログラムを実践していった。	学生との交流を子ども達もとても楽しんでいる。行事にもたくさんのお手伝いが来てくれることが助けになっている。
4		[地域連携]	鞍手町文化債への作品展示を始め、地域住民と交流を深め地域行事にはできる限り参加していった。	陶芸とお茶会や田植えなど、特色のある貴重な経験ができていと思う。
5		[小学校との]連携	小学校との接続を見通した教育課程を変遷した。教員による在園児卒園児の進学校に出向き、連絡会を行ったり、就学前に小学校教員による模擬授業を行ったりした。	小学生との交流は卒園後、小学校へ行くイメージが持てるのですごくいいと思う。
6	運営	[職員研修]	年度当初と夏季保育時に補助職員を含む全職員の園内研修を実施し、全クラス公開保育を実施してその後の振り返りと勉強会を実施した。	先生同士保育を見合う機会があるのが良い。職員みんなはつらつと保育をしているのが印象的だった。
7		[定員管理と広報の充実]	ホームページに園の教育方針や運営方針をわかりやすく伝え、更新は月平均2回程度実施した。SNSに週3回ペース園の教育方針及び運営法に十分対応したの物を掲載した。	ホームページが新しくなり、イベントの様子など見るのが楽しみになった。インスタグラムで日頃の様子を見れるのも嬉しい。
8		[安全衛生対策危機管理体制の構築]	定期的な避難訓練を実施し、危機管理の意識の高揚を常に図る中で、協力体制を旨に保育時―災害時―登降園時など様々な場面の想定をし、安全衛生保育の充実を図った。	安全の為に訓練がしっかりとなされていると感じた。夏場の遊具の温度管理にも気を付けているのは良かった。
9		[学校評価]	年度当初に作成した教育課程の進捗状況について、各学期末に振り返り文章での報告を実施した。また、年度末に保護者のアンケートを実施し次年度への計画に生かしていった。	計画から見通しまでのサイクルがしっかりと確立されていると感じた。